

計画策定の趣旨



府中市では、平成7年に「ふれあいと創造の都市（まち）府中」をテーマとした「きらめき府中共創計画」（計画期間：平成7年～平成16年）を策定し、市政の基本指針として推進してきました。

しかしながら、10年間を経て、府中市をとりまく社会情勢は大きく変化してきました。特に、地方自治体の深刻な財政危機を背景に市町村合併の動きが全国的に進む中、府中市は平成16年4月1日、甲奴郡上下町を編入し、新しい府中市としてスタートしました。

こうした地域社会をとりまく、さまざまな社会情勢の変化や新しく発足した府中市の地域構造の変化により、これまでにない新たなまちづくりの課題やニーズが生まれています。

新しい府中市のまちづくりについては、府中市・上下町合併協議会において、まちづくりの基本方針として「府中市・上下町合併建設計画」が策定されました。

今後は、この「府中市・上下町合併建設計画」で示されたまちづくりの基本方針を実行していくため、より具体的で実効性の高い政策の実現が必要となります。

このため、府中市が新しい自治体として有機的に機能し、さまざまな社会変化に対応でき、持続的発展が可能な地域社会の形成に向けた、新たな将来ビジョンと発展の方向を示すまちづくりの基本指針として、第3次府中市長期総合計画を策定します。